

電気自動車カーシェアリングサービス「eemo(イーモ)」を開始 ～ 地域におけるエネルギー循環社会を目指す ～

釧路ガス株式会社（取締役社長：両角 幹彦、以下「釧路ガス」）は、2025 年 9 月 1 日より電気自動車（以下「EV」）カーシェアリングサービス eemo（株式会社 REXEV「レクシブ」※1 提供サービス 以下「REXEV」）を開始いたします。

釧路ガスでは EV カーシェアリングを基軸として、クリーンな移動手段の提供にとどまらず、エネルギー地産地消モデルの確立、地域観光の活性化など地域のエネルギーインフラを担う企業として、脱炭素社会実現・活性化に寄与すべく、本サービスを展開してまいります。



【現地写真】



【現地地図】

■ EV カーシェアリング「eemo」(イーモ) について

「eemo (イーモ)」は、REXEV が提供する、電気自動車（EV）を活用したカーシェアリングサービスです。2020 年 6 月に神奈川県小田原市を中心に本格始動し、単なる移動手段にとどまらず、再生可能エネルギーと連携したエネルギーマネジメントや、災害時の非常用電源としての機能を備えた、地域密着型の次世代モビリティサービスとして展開をしております。

eemo は、スマートフォンひとつで予約から利用、決済まで完結でき、15 分単位で利用可能。料金には充電代も含まれており、環境にも家計にもやさしい仕組みとなっています。

地域の暮らしに寄り添いながら、持続可能な社会の実現に貢献する EV カーシェアリングサービスとして、全国各地への展開を拡大しております。

【サービススキーム図】



EV カーシェアリング事業「eemo」サイト URL : <https://www.eemo-share.jp/>

■導入の期待効果

1.環境負荷の低減

EV の導入により、従来のガソリン車に比べて走行時のCO₂排出量を削減し、事業活動に伴う温室効果ガスを削減しつつ、地域全体の脱炭素化を推進します。

2.地域観光の活性化・関係人口の増加

地域にお住まいの方のみならず、観光客の皆様も利用可能なEVカーシェアリングにより、釧路市内外の移動手段としての利便性が向上し、公共交通機関では難しい観光地への訪問促進が期待されます。

環境負荷の少ない移動手段を提供することで、持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の観点から「釧路」の観光地としての価値が高まることを期待しております。

また、従来は都市ガス事業を通じて地域内のお客さまとの関わりが中心でしたが、EVカーシェアリングの展開により、市外・道外の方々と当社との間で新たな接点生まれることを期待しております。これにより、地域を越えて当社の存在を知っていただく機会が広がるきっかけとなるものと考えております。

■今後の展望

当社は今回のEVカーシェアリング事業を起点に、EVの蓄電池としての価値を高め、電力需給の調整力として機能させることを視野に、REXEVの知見とノウハウを頂きながら地域の脱炭素社会の実現に向けた取り組みを更に進めてまいります。

今後は、近隣自治体さまとの連携を一層強化し、このプラットフォームを生かし、地域全体の地産地消を促進するエネルギーモデルの確立を目指してまいります。

※1：株式会社REXEV（レクシブ） 会社概要

本社所在地：東京都千代田区神田淡路町一丁目9番5号

事業内容：企業、自治体向けのEV導入支援およびEV運用システム提供事業等

コーポレートサイト URL：<https://rexev.co.jp/>

《お問い合わせ・担当》

釧路ガス株式会社 営業部営業企画室

TEL：0154-65-1607（直通）

以上